



君の思いが蒲郡を輝かせる!!

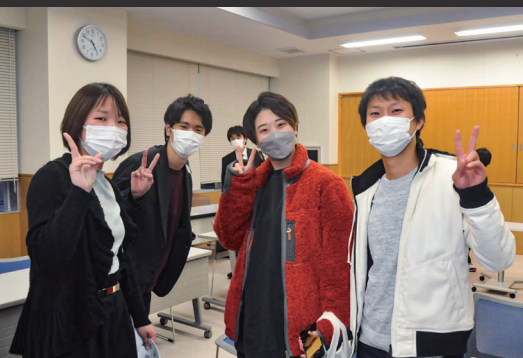
蒲郡若者議会

君の大好きな人のために!

君のため!

君の大好きな人のために!

第1期 報告書





蒲郡の未来を担う若い世代の多くは、普段の生活のなかで蒲郡やまちづくりについて学ぶ機会がなく、まちづくりに興味・関心があったとしても、その想いを話し合ったり、まちや行政に届ける手段がないのが現状です。そのため、蒲郡の政治や行政に関心が薄く、まちづくり参画の必要性を実感することが難しくなっています。

蒲郡若者議会は、若者の目線で蒲郡をどのように良くしたいのかを考え、意見を出し合い、それを実行に移していく場であります！！

2021年度の第一期では、20名の高校生から29歳までの社会人が「若者にまちに関心を持ってもらい地域愛着を育む」「世代間交流を促進し、若者自身の成長に繋げる」「次代を担う若者のまちづくり参画の促進」「若者の意思表示の機会を作りまちをより良くする」「市や社会全体で若者を応援する団体を作る」などを目的として、蒲郡青年会議所や行政職員をはじめとした、多くの市民にご協力をいただいで活動してまいりました。

第一期蒲郡若者議会 委員会紹介

観光委員会

観光委員会は、理想の未来像「地域と調和した観光地」を目指し、まずは市民がまちづくりに参加するきっかけを作るべく、AR技術を用いて理想の東港地区を創り出してもらい「希望の蒲郡に塗り替える〜がま CreateAR〜」を政策として提案しました。そのため、小委員会では奇抜なアイデアなどで笑いを交えて議論を盛り上げながら、議員一丸となって蒲郡の未来を考えてきました。議員たちは信頼関係で結ばれており、とても魅力的な提案ができたと思っています。（久米淳平委員長／愛知工科大学）



娯楽委員会は理想の未来像を「東三河に来た時に、平日土日関係なくふらっと立ち寄れるまち」と設定し、観光地に訪れた観光客に蒲郡を深く知って欲しく巨大なデジタルビジョンを設置し、蒲郡の情報を投影し、観光客、市民、行政が繋がる場所を創り上げることを考えました。学生、社会人等年代もバラバラで予定を合わせることが難しい為、LINEにて情報を共有し取り組んできました。娯楽委員会の名の通り、会議も和気藹々と楽しみながら行いました。（小田晃副委員長／大道芸人）

娯楽委員会

子供委員会

子供委員会は「のびのび遊べる街」を理想の未来像として活動しました。最初に集合した時からとにかく仲が良いメンバーで、素直に自分の意見を言い合えることが強みです。のびのび遊べる場所として、子育て世代からのアンケートで回答が多かった公園に着目し、公園マップを作るためにそれぞれの得意なところを活かして、多くの人を巻き込んだ結果、忙しさの中でも笑顔の絶えない毎日でした。絆の深まったメンバーで、今後も蒲郡を盛り上げます！
(山本航委員長／会社員)



福祉委員会

私たちの理想の未来像は、「若者と高齢者のコミュニティが豊かで健康増進に優れたまち」です！これを達成するために掲げた政策が、「Gammaホーム - 若者と高齢者をつなぐ家 -」です！この政策では、若者と高齢者の多世代交流の場を創造し、市の課題である「空き家問題」の解決を目指します。蒲郡をより良いまちにすべく、試行錯誤を重ね、ようやく辿り着きました。皆さんに満足して頂けるGammaホームを作れるよう、今後も尽力して参ります。
(安藤かおり委員／名古屋大学大学院)



地域委員会

地域委員会は蒲郡に関わる人々が「魅力を誇りいつまでも愛されるまち」を理想の未来像としました。議員全員集まるとの活動ができなかったため、参加できる議員で互いに支え合いながら協力し、自分自身とても成長することができました！政策はアーティストを蒲郡に招き滞在してもらい地域の魅力をいかした作品製作に取り組んでもらうという藝住プロジェクトです。蒲郡はアートに触れる機会が少ないのでこの政策でアートに興味を持ってほしいです！
(近藤隆樹副委員長／蒲郡東高等学校)



蒲郡若者議会の流れ

1 説明会

蒲郡若者議会では、まちの魅力や課題点など考える上で「蒲郡を知ろうという気持ちを常に持つこと」、「自分や自分が大好きな人がいいまちで住みやすいと思ってくれる蒲郡の理想の未来像を思い浮かべること」の2点を心構えとして政策内容を検討することを説明しました。最後に議長選挙を行い、蒲郡若者議会第一期の議長、副議長を選定しました。



2 全体会議

全若者議員が集まる全体会議では政策検討を中心に計15回を実施しました。その中には新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン開催にせざるを得ない会議もあり、若者議員は四苦八苦しながらも、若者の視点から見た蒲郡の理想の未来像に対して真摯に向き合いました。会が進むにつれて、政策検討を主体的に行い、全委員会が市に対して政策提言を行うことができました。



3 中間報告会

委員会配属が決まり、各テーマにおける蒲郡の理想の未来像を思い描いて政策検討。全体会議では不足、自発的に小委員会を開催し若者議員のみで中間報告会用発表資料や政策シートを作成しました。行政や政策内容に関係する方々をお呼びして初めて対外に向けて想いを発信し、若者目線の政策を聞いていただいた後、会場に集まった80名を超える方々と意見交流の場を設けました。



4 事業実施

各委員会で作った政策に紐づく事業を蒲郡市で100回に迫る蒲郡商店街イベント「福寿稲荷ごりやく市」にて展開し、市民の皆様からの声を聞きました。若者議会の事業ブースを参加者が体験することで「若い世代のまちづくり参画の促進」「まちづくりにかわる人材を増やす」ことを試みました。多くの協力者と共に考え実施したこの事業はどのブースにも多くの参加者が訪れ、大盛況。また、蒲郡の若者が経営するカフェにも出店の協力をしていただいたことで多方面、多世代に影響を与えた事業実施となりました。

各委員会の事業ブース

観光委員会

「創ろう理想の蒲郡 ～がま Create～」

「がまクリエイター」となって盤面に描かれた小さな蒲郡に、発泡スチロールで作った建物を自由に開発・建設、そして自分だけの理想の蒲郡を思い描いていただきました。



娯楽委員会

「蒲郡ブックマークリサーチ」

参加者には様々なコスチュームで仮装してもらい、オススメの蒲郡市のスポットや飲食店をインタビューし、その様子を動画撮影させていただきました。



子供委員会

「わなげで発見！ がまごおり探検隊！」

蒲郡には子供がのびのびと遊べる多くの公園があります。わなげで楽しく遊びながら、みんながまだ知らない蒲郡の公園を知っていただきました。



福祉委員会

「新感覚障害物タイムトライアル」

全身に高齢者擬似体験装具を装着して、コースの障害物をクリアしていくことで日常で困っている高齢者の気持ちを知っていただきました。



地域委員会

「アート de 湯る湯る」

若者自身で魅力を創造することによって愛されるまちにしていくことが必要だと考え、「温泉」と「アート」を組み合わせたワークショップを実施しました。



ごりやく市事業総評

ごりやく市事業では、今まで自分たちの考えてきた政策が、「理想の未来」に至るための手段として有効かどうかを検証する場となりました。委員会の中で意見をすり合わせていくのが大変でしたが、「実際にまちへインパクトを与えられるチャンス」と考えて頑張ることができました。当日は若者議会エリアからもものすごくポジティブな空気が醸成されていたと感じました。やってみて初めて分かることがたくさんあり、顔と顔を合わせて考えを伝える、意見を聞くことの大事さが分かった貴重な機会となりました。

蒲郡若者議会 副議長 児玉真伍



5 最終報告会

各委員会の考案した政策に対する福寿稲荷ごりやく市での実証事業を経て、市民の方々がその政策を本当に求めているのか、方向性は合っているのか何度も話し合い精査してきました。最終報告会では、5委員会が多様なパフォーマンスで半年以上かけて積み上げたその成果を発表しました。熱意、知識、伝え方と中間報告会からも大きな成長を感じさせ、聞いている全ての人に蒲郡への想いを伝えられました。政策内容は、若者視線ならではのものが多く、今後の政策実現へ前向きな意見を頂きました。



観光委員会

「希望の蒲郡に塗り替える
 ～がま CreateAR～」

市民が蒲郡の観光スポットである竹島とその周辺地域の開発に興味を持ってもらうように誰でも考えることが可能なアプリ「がま Create AR」の開発を発表しました。



娯楽委員会

「Gamagori Bookmark Collection
 (ガマゴオリブックマークコレクション)」

蒲郡情報の共有、観光客を誘客する手段として、蒲郡市民のおすすめスポットや観光客が撮影した写真を投影できるデジタル看板の設置とその必要性を発表しました。



子供委員会

「地産地遊プロジェクト」

蒲郡には素敵な公園が多いことを発表し、子供の遊びの幅を増やすために写真で公園の雰囲気が分かる公園マップの作成とこれを用いた公園イベントの開催を発表しました。



福祉委員会

「ガマホーム
 -若者と高齢者をつなぐ家-」

空き家問題と高齢者と若者のコミュニケーションの場を作ることの掛け合わせることで同時に課題解決、さらに学校施設開放事業の活用も発表しました。



地域委員会

「蒲郡藝住プロジェクト
 ～温泉 × アートで蒲郡の魅力創造!!～」

蒲郡の素敵なロケーションを利用して「藝住プロジェクト」というまちにアーティストを呼んで、作品の創作意欲を湧く場所として蒲郡に住んでもらう計画を発表しました。



最終報告会総評

学校や仕事での本業、新型コロナウイルスの影響でリモート会議など思うように話し合いが進まない時もありましたが「蒲郡を良くしていきたい」と思う若者議員達の気持ちは変わる事なく、最後まで委員会メンバーで話し合い最終報告会まで持っていく事が出来ました。最終報告会では、蒲郡市民にとって何が必要なのか、アンケートや市民の方の意見をの根拠を基に蒲郡市に提言をし、鈴木市長にも講評して頂きました。若者議会は今後も継続していくべきだと強く感じました。

蒲郡若者議会 議長 芦刈純奈



6 修了式

4月から9ヶ月以上に亘る長い期間を駆け抜けた第一期蒲郡若者議会が閉幕し、20名の若者が若者議員としての担いを見事に全うし、第一期生として修了証を受け取りました。全体会議内では一人ひとりが蒲郡若者議会での感想と学んだことを発表し、来年への新たな一歩を踏み出しました。また、蒲郡市長を会場にお招きし、各委員会の考案した五つの政策を「政策要望書」として芦刈議長から市長へ直接提出しました。



第一期蒲郡若者議会若者議員修了者（五十音順）

芦刈純奈（会社員）、安藤かおり（名古屋大学大学院）、幾世義弘（医療従事者）、内窪彩音（会社員）
小田晃嗣（大道芸人）、亀井叶夢（愛知工科大学）、河合郁実（蒲郡高校）、川合俊平（蒲郡東高校）
久米淳平（愛知工科大学）、来本健太郎（愛知教育大学附属高校）、児玉真伍（団体職員）、小林万純
（蒲郡東高校）、近藤隆樹（蒲郡東高校）、下野太聖（蒲郡東高校）、杉浦遥（蒲郡高校）、竹内敦司
（会社員）、竹内瑠奈（愛知大学）、牧菜名（蒲郡高校）、宮松幸也（愛知淑徳大学）、山本航（会社員）

協賛紹介

主催

蒲郡若者議会 JCI Junior Chamber International GAMAGORI 一般社団法人 蒲郡青年会議所

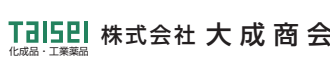
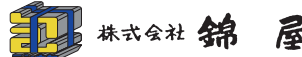
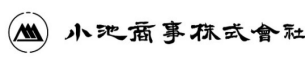
令和3年度 蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金活用事業

後援



蒲郡若者議会の
ホームページ
紹介

協賛



蒲郡若者議会第二期生募集中

- 蒲郡市に在住・在学・在勤のいずれか
- 15歳～29歳（中学生を除く）令和4年4月1日時点
- 蒲郡市が好きな方
- 蒲郡市を好きな「まち」にしたい方

任期

2022年12月まで

メリット

現場体験などで
蒲郡市のことを
知ることができます

真剣に
自分の考えを語る、
聞いてもらえる
場所や仲間に
巡り合えます

学校推薦や
就職に有利に
なります

様々な世代と
話す機会があり
自分自身の成長に
繋がります

応募方法

こちらのホームページより ▶



●お問い合わせ先 蒲郡若者議会運営委員会

鈴木崇之 080-1192-6611 gamawakagikai@gmail.com